

ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

71号
2021
11.19

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
http://www.pref.kyoto.jp/plant/

園内で野鳥の死骸を発見されました。鳥インフルエンザの疑いもありますので絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。

紅葉ライトアップ! 2021

11/13(土)~12/5(日) 夕暮れとともに光が灯ります! 午後8時閉園(入園は7時半まで)

※ 同時に観覧温室夜間開室! 午後5時~午後8時開室(入室は7時半まで)

※ 2022 京都府立植物園カレンダー 好評発売中! (植物園会館売店および各門にて)

← 京都府立植物園[公式]Twitterアカウント始めました! 見頃情報を中心につぶやいています。

京都府立植物園[公式]YouTubeチャンネル始めました! 動画で園内の様子を紹介しています。 →



第30回 寒蘭展

○期間: 11月19日(金)~11月21日(日)

9:00~17:00(最終日16:00まで)

○場所: 植物園会館1階展示室

○内容: カンラン約100点及び席飾り5席を展示
(販売あり)

♪ 夕暮れマルシェ in 京都府立植物園

~紅葉の季節の小さな手づくり市~

○日時: 11月23日(火祝) 13:00~19:00

○場所: 北山門噴水周辺

○内容: アクセサリー、工芸品など手作りの店舗が出店。

紅葉散策ツアー

○日時: 11月20日(土) 13:00~13:45

○場所: 植物園会館前集合

○内容: モミジやフウ、イチョウなどの紅葉を職員が案内
※20日の「土曜ミニミニガイド」を兼ねています!

♪ 秋のものづくりガーデン&ミュージックガーデン

○日時: 11月21日(日) 9:00~16:00

○場所: エコ路地、北山門広場周辺

○内容: アクセサリー、お菓子、工芸品など手作りの
店舗が大集合! ミニコンサートも同時開催!

第9回 草花アートボトル展

○期間: 11月22日(月)~11月28日(日)

10:00~17:00(初日13:00~、最終日16:00まで)

○場所: 植物園会館1階展示室

○内容: 様々な花を特殊乾燥させ自然の雰囲気意識して
作った作品を展示

「水曜ミニガイド」 植物園認定ガイドがご案内!

毎週水曜日は・・・

植物園会館前集合: 午後1時スタート!

「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説!

毎週土曜日は・・・

植物園会館前集合: 午後1時スタート!

「副園長のほっこりガイド」

11月21日(日) 何処を歩くかはお楽しみ!

植物園会館前集合: 午後2時スタート!

「植物園ガイド」が植物案内!

~見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増!~

- ① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
- ② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
- ③ ガイドは1時間程度。(無料)
* 申込先: 京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

- 毎週 日曜日 午前9時~正午、午後1時~午後4時
- 電話075-701-0141

スマホdeガイド

QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定!

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成! 「おすすめ樹木めぐり」「おすすめエリアガイド」などをスマホで確認し、植物観察!

※年間パスポート好評発売中

- ・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです!
大人1000円 高校生750円
- ・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP!



⑫ **キンシヤチ(金鯰)**

サボテン科。メキシコ中部原産。当園の個体は1930(昭和5)年11月にメキシコのバルメー博士が宮内庁に献上された一つで、本種が日本に最初に導入された固体である。1990(平成2)年に京都大学農学部附属農場より寄贈された。

⑪ **子福桜(コブクザクラ)**

バラ科。野生種のカラミザクラとコヒガンから生まれたと考えられる栽培品種。一つの花に雌しべが複数あることが特徴。そのため、一つの花に複数の果実が実ることから「子宝に恵まれるめでたい花」とされ、それが名前の由来となった。

⑩ **プラティケリウム・ワンダエ**

ウラボシ科。ニューギニア原産の着生シダ。半椀状に成長する貯水葉と、胞子がつく胞子葉との2種類の葉を持つ。胞子葉の裏には、胞子嚢(のう)が集まってできた茶色いソーラルパッチがあり、その形や付き方によって種を識別できる。

⑨ **ノアサガオ**

ヒルガオ科。原種は伊豆七島、紀伊半島などに分布。一年草のアサガオと比べて格段に強健で、十数mもツルを伸ばす。開花期間は長く、霜が降りる11月まで咲き続ける。日差しを遮る「緑のカーテン」として注目されている植物の一つ。

① **イロハモミジ**

ムクロジ科。紅葉がきれいに色づく条件として①十分な日照条件②昼夜の気温の寒暖差③水分の供給などが挙げられる。三方を山で囲まれ、鴨川や桂川の流れる盆地である京都はこうした自然環境に恵まれ、紅葉の名所が多いとされる。

② **パパイア**

パパイヤ科。熱帯および亜熱帯地域原産。沖縄などでは果物としてよりもむしろ野菜として利用されている。冬の寒さで枯れてしまうため、当園では、秋に種まきを行い、冬はガラス温室で越冬させ、4月下旬以降に花壇に定植している。

③ **トウゴマ**

トウダイグサ科。東アフリカ原産。別名でヒマとも呼ばれ、種子から得られる油はヒマシ油として広く使われている。属名の *Ricinus* はラテン語で「ダニ」を意味しており、その名のとおり果実は模様と出っ張りのため、ダニに似ている。

④ **コダチダリア**

キク科。メキシコ南部から中米にかけての高地が原産。ダリアの仲間の中では最も草丈が高く、5~6mまで成長することで「木立」の名前が付いた。また、その貫禄ある姿がダリアの王様にも例えられ、「皇帝ダリア」の別名でも呼ばれる。

⑤ **バラ「うらら」**

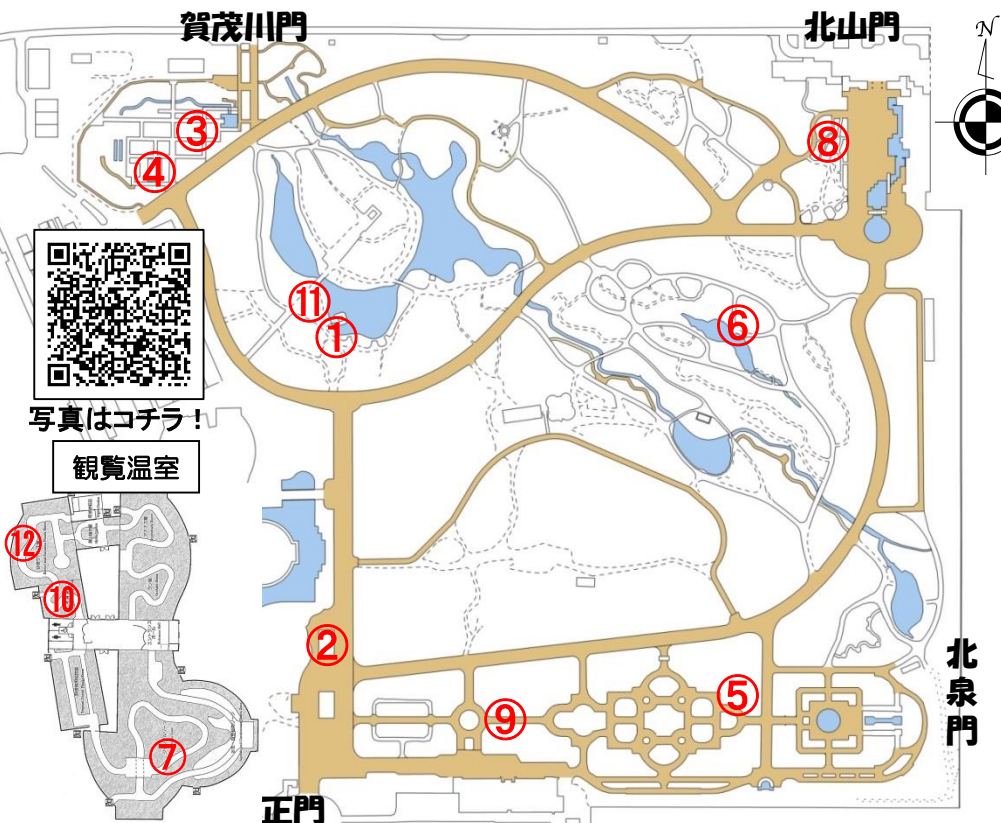
バラ科。蛍光色のような濃いピンクの花色が魅力的な日本で作出された品種。形の良い花が株を覆い尽くすほどに咲き競う。花付きが良く、春から秋まで休みなく開花し、夏でも色あせず鮮やかに開花する。1995年JRCコンテストで金賞受賞。

⑥ **キクタニギク**

キク科。岩手以南の本州、九州北部などに分布。山地の谷間のやや乾いた崖や、山麓の土手などに生える。府内では丹後地域や南丹地域などで分布記録があるが、和名のもとになった京都市東山区菊谷(溪)では絶滅したといわれている。

写真はコチラ!

観覧温室



⑧ **ユリオプスデージー**

キク科。南アフリカを中心に分布。岩場や砂丘の斜面に自生する。葉や茎に細毛が生えているので、全体が灰白色に見える。黄色の花を長期間咲かせ、株は大きくなる。暖地では冬越しができる。

⑦ **クバンラ・ドミンゲンシス**

アカネ科。ドミニカ共和国に分布。当園では2006年に種子を導入してバックヤードで栽培を開始した。生育に応じて鉢のサイズを大きくして栽培し、2010年に国内で初めて開花した。芳香があり、特に夜間は強く香る。(ジャングル室の高台付近)